

局	上下水道局	部	下水道部	課	下水道管路課
受援対象業務名称	下水道被害状況調査活動(下水管きよ被害状況調査)				
業務種別	災害対策業務		開始局面	ステージ3	
本業務の必要人数(応援要請時)	1223人				
業務マニュアル有無	有	→	内容	調査時の確認方法・項目・記入方法等	

■ 応援要請に関する情報

受援対象業務の内容 (事務分掌)	ライフラインの緊急対応 ライフラインの二次調査
要請する業務内容	管路施設の一次調査 管路施設の二次調査

応援要請先	東京都(・新潟市)・日本下水道管路管理業協会
協定の有無	■あり(協定名:21大都市災害時相互応援に関する協定、災害時における復旧及び機能保全支援協力に関する協定) □なし
協定締結連絡先	相手方への応援要請については上下水道局で実施
求める資格	□あり(資格名: ) ■なし
求める職種	■行政職員 ■民間企業 □NPO □ボランティア □その他( )
受入にあたっての留意点	相手方の受入については上下水道局で実施

■ 受援体制に関する情報

指揮命令者	下水道管路課長(管路班班長)	受援担当者	下水道管路課長補佐(管路班副班長)
-------	----------------	-------	-------------------

業務遂行体制	人員体制 (ポスト数・1ポストあたりの内訳など)	一次調査:4名/班 (うち4名は支援都市職員) 二次調査:9名/班 (うち2名は支援都市職員、5名は管路管理業協会職員、2名は交通誘導員)
	勤務時間 (勤務シフ)	8時30分~20時

集結場所	災害対策センター又は調査箇所に現地集合	駐車場所	有
------	---------------------	------	---

受援終了連絡方法	受援完了報告書にて報告、相手方への受援終了連絡については上下水道局で実施
----------	--------------------------------------

引継報告方法	事務引継書にて報告
--------	-----------

	堺市側	応援側
必要な資機材	調査用図面、マニュアル、調査用筆記用具、マンホール蓋開閉用工具、調査データ集約用PC、受援者宿泊用資材	調査車両、テレビカメラ車両、給水車両、洗浄車両、バキューム車両
主な活動場所	災害対策センター、上下水道局三国ヶ丘庁舎	堺市全域における現地調査、災害対策センター

■ 活動体制(1日の流れ)

	堺市側	応援側
準備	-	当日の調査箇所に現地集合
↓		
会議・打合せ	必要に応じて随時実施	-
↓		
主な活動	<p>現地災害対策本部にて、調査結果、進捗状況を把握し、下水道管路復旧に向けて立案・総括を行う。また翌日以降の調査班数を決定し、受援都市や管路管理業協会に対し、人員派遣要請を行う。また応援者の宿泊施設・スペースの確保を行う。</p>	<p>現地で下水道管路の被害状況を調査し、記録及び写真撮影を行う。(二次調査においては、テレビカメラにより下水道管路内部の動画撮影を行う。)</p>
↓		
1日の報告、情報共有	代表者会議(18時)で情報共有を図る。	代表者会議(18時)で情報共有を図る。
↓		
とりまとめ	1日の調査結果の報告を応援側から受ける。	1日の調査結果の整理を行い、堺市へ報告を行う。
↓		
翌日作業設計	翌日の調査箇所、班編成を決定する。	堺市より、調査箇所、班編成の決定を受けて、班員間で翌日の集合場所、車両手配等の打ち合わせを行う。